

本邦における脱分化型軟骨肉腫の治療成績-骨軟部肉腫治療研究会多施設共同研究-

1. 研究の対象

1990年から2014年までに特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）参加施設において、組織診断で骨原発性脱分化型軟骨肉腫あるいは骨原発性通常型軟骨肉腫 Grade 3と診断された患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

脱分化型軟骨肉腫は軟骨肉腫の1.4～15%を占める稀な悪性腫瘍です。2014年までに単一施設から22～78例の治療成績が報告され、2007年にはヨーロッパの多施設共同研究で治療成績が報告されていますが、まだ、特徴や適切な治療法は十分に明らかにされていません。本邦ははじめアジアにおけるまとまった報告はなく、多数例における脱分化型軟骨肉腫の臨床成績が明らかになれば、本邦におけるより適切な治療が可能になることが期待されます。

本研究の目的は、本邦の骨・軟部腫瘍専門施設における骨原発性脱分化型軟骨肉腫の治療成績を通常型軟骨肉腫 Grade 3と比較して後方視的に検討し、その成績向上のために改善すべき点を明らかにすることです。

方法：研究事務局は匿名化された診療情報を集計し、全症例の腫瘍学的成績について後方視的に解析します。

研究期間：2年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：人体から得られる試料はありません

情報：初診時患者情報（カルテ番号、生年月日、病理検体番号等）、画像的特徴（単純X線、CT、MRI等）、組織学的評価、原発巣の治療内容、再発病巣（遠隔転移・局所再発）の特徴と治療内容、腫瘍学的経過等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

症例リストを作成し、各施設で症例リストの個人を特定できるIDと氏名をコード化します。コードと症例リストを連結する対応表は各施設において厳重に保管します。データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

結果は、整形外科または腫瘍関連学会において発表し論文発表される予定です。公表については個人を特定できないような形でおこないます。個人の検査結果等に関する開示は行わない予定です。診療情報の利用について希望されない場合は、その方のデータを本研究から除外して研究を行います。

5. 研究組織

特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）参加施設 71 機関
グループ研究代表者：上田 孝文（JMOG 代表幹事）
国立病院機構大阪医療センター 整形外科

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお
申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先・研究責任者：

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍科 科長 川井 章

TEL 03-3542-2511（代）

研究代表者

名古屋大学大学院医学系研究科運動形態外科学講座整形外科学

特命教授 西田佳弘

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL：052-741-2111